

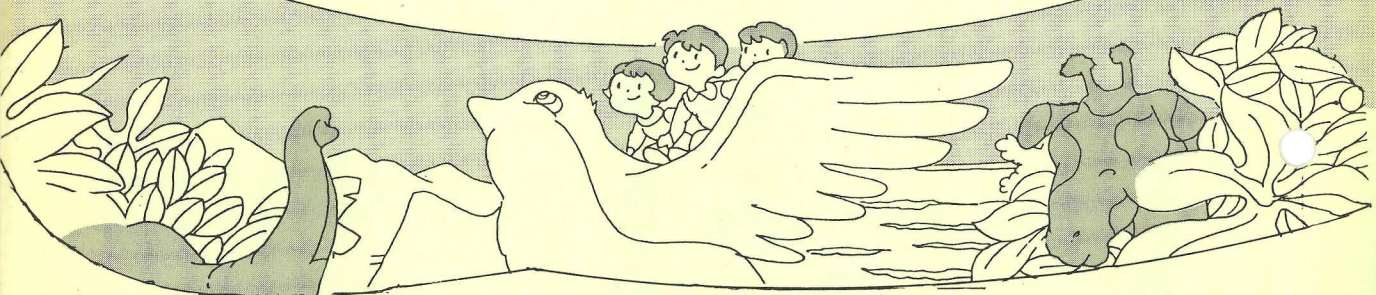


RECYCLE
Design



月刊 リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい



さる10月21日(土)に、戸塚区東品濃小学校で『よこはま環境教育シンポジウム』が行われました。これは、環境教育について家族・学校・地域・行政・企業などがどのように協力し合えるかを探り、ワークショップを通して環境教育の学習プログラムを紹介しようという趣旨で催されました。

当日は市内小・中学校の先生・一般参加・地元の子どもたち(約150人)で大盛況でした。



放課後、みんなを
楽しませてくれたよ！

『よこはま環境教育シンポジウム』から

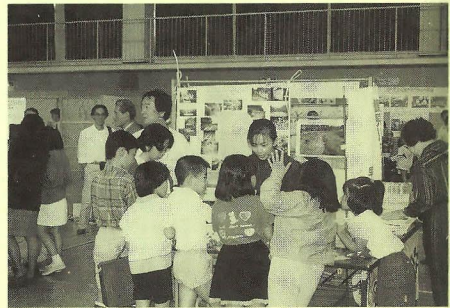
【第一部】に基調講演で南研子さんが『リサイクルをする前に』ということとで熱帯雨林地域の現状をスライドを使って説明されました。

【第二部】はワークショップというところで、参加団体による実演・実験や



情報交換が行われました。ワークショップでは、普段子どもたちは学校では教えてもらえないことを、熱心に聞いていました。どんなことが行われたかというと、コンポストでかいわれ大根を作ったり、川の水を調べたり、ペットボトルで水槽を作る、紫外線を調べるなどなど…。時間が足りないくらいでした。

最後に子どもたちにアンケートをとったところ、ほとんどが「楽しかった」。「次もまたやって欲しい」ということで参加団体も次回に向けまた違ったことを考えて出展することでしょう。



『生活のなかの材質表示』

リサイクル運動が盛んな昨今、分別排出及び分別収集の重要性が問われていますが、アルミ缶・スチール缶・古紙・ボロなどはわりと簡単に識別できますが、プラスチックは見た目がほとんど同じでその材質ごとに分別してと言われてもなかなか難しいですね。

再生品を作るとき、材質の選別は必要なことです。異種の材質ではなかなか融合してくれないものもあります。プラスチックの材質表示も数年前から行われていて、かなり生活の中に浸透していますが、再確認の意味でお知らせします。

どのマークがどの商品に

ついているかよく見て下さい。私たちの生活の中でよく見かけるのは、ペットボトルの「PET」、トレーの「PS」、文房具などの「PP」をはじめ7種類の表示のなかで3〜4種類程度。どの材質がどんな特徴をもっているのかを考えると、なぜこの品物にこの材質が使われているのかが見えてきますよ。時間がある方は調べてみてください。

プラスチックの種類とマーク

区分	識別マーク	プラスチック名	おもな用途
熱可塑性プラスチック(熱をくわえるとやわらかくなるプラスチック)		ポリエチレン テレフタレート	ペットボトル、テープ、フィルム
		高密度 ポリエチレン	灯油缶、びん、あみ
		ポリ塩化ビニル	たばこパック、ラップ
		低密度 ポリエチレン	通信ケーブル、ふた
		ポリプロピレン	自動車部品、くもろ、注射器
		ポリスチレン	TV、トイレ、おもちゃ
		その他の熱可塑性プラスチック	ボールペン、かんばん、おしるし
熱硬化性		熱硬化性 プラスチック (熱をくわえると固くなるプラスチック)	ポタン、食器、ヨットの本体

▲「環境とリサイクル8 プラスチック」より

今回は生活排水と工場排水についての話でした。今回はゴルフ場の話からしてみましよう。

川の汚染で忘れてはならないのが、ゴルフ場の存在。ゴルフの普及とともにゴルフ場が増え、現在全国に約2千のゴルフ場があります。ゴルフ場は森林を切り倒し芝生を植えます。そして芝生を緑に保つために、殺虫剤や除草剤などの農薬や化学肥料を大量に使っています。これらが

雨などによって地下に浸透していき、結果的に川や海に流れ込んでいきます。

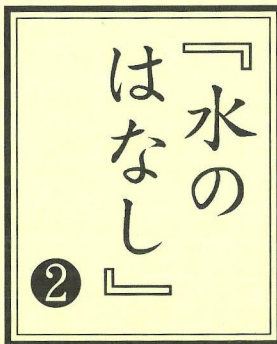
また川岸をコンクリートで固めることによって水辺の生態系が破壊されて川の浄化作用が失われ汚染が進んでしまいます。汚染された川や地下水は、化学物質や農薬と共に最後は海へ流れ込みます。

このように工業の発達、生活水準の向上と共に、私たちの暮らしはより快適なものになっていますが、その反面(代償として)あらゆる水環境を汚染・破壊しているのです。このままの状態が続けば当然自然界の

様々な生態系が破壊され、動植物はもちろん私たち人間も存亡の危機に陥るのは時間の問題でしょう。そうならないためにも私たちはいくつもの努力をしなくてはならないのです。今現在、河川や海を汚す主な原因は家庭からの生活排水であることから、まず水際に汚染の元を断つこととして、使用済みの油は市販の凝固剤で固めるか紙に染み込ませて捨てる。園芸用の農薬と肥料は最小限度に使用する、若しくは腐葉土・有機肥料を使った有機園芸を行う、洗剤は自然原料を使ったものにする、…というように、小さいことですが意識して行えばきつと大きな結果を生むでしょう。更には水の使用量を減らし、雨水や汚染を浄化処理して再利用するといったこともまだまだ検討の余地はあると思います。ミネラルウォーターやアルカリイオン水もいいですが、おいしい水道水を安心して飲めるようになりたいものです。

*参考文献

「地球環境と人間」清水潔著



「水のはなし」
2

エコサイクル 12か月

第11回

『いのちの水』

ブームのミネラルウォーターに水をさすかのように、カビやプラスチック片が見つかった。除菌フィルターに問題があったのでは、と都衛生局のコメントがありました。中には全く手を加えずただ水を詰めただけという物もあり驚かされます。水は無菌状態ならともかく、止まれば腐っていくはずですから、ミネラルウォーターも塩素殺菌したいところでしょうね。



日本は山が多く水がよい国とされてきたのが、いつのまにか容器入りの水が売れ始めました。東京や大阪ほどひどくはないにせよ、確かに水はますますなってきたいます。下水の排水口と上水の受水口が交互にあるような川は珍しくありませんし、上流にある工場や農地からの流れ込む汚染物質を想像すると透明できれいな水にいったい何が入りこんでいるのか恐ろしくもあります。

以前に浄水場をみせてもら

たことがあります。水をたたえたプールがいくつも並んでいて、一つは水を抜き敷きつめてある砂の表面を削り、ベルトコンベアで運んでいるところでした。受水槽には小魚や藻、微生物が当然入ってくるので、順に底の砂をきれいにする必要があるのだそうです。水を砂でろ化するのにはサンド法というヨーロッパ型で、アメリカ型はアルミナに吸着させる方法です。後者は時間が少なくてすむので、サンド法から切り替えつつあるところ。ろ化した

の水を飲むと、甘いと感じるのはサンド法の水でした。供給時にはミックスしてしまします。ゆづり化するサンド法が消えていくのは残念なことです。当たり前水道栓をひねれば流れ出る水ですが、とても不思議で大切な物質です。あらゆる生物の源、巡る水を汚してはならないのです。ササキミチコ*ササキさんのおすすめ本『森からの手紙』

文と絵 田島征三

労働旬報社 1500円



森を愛する人がいて森は美しい。ほとんどの町、ゴミについて考える。いのちの水。

フォーラム

横浜リサイクラー会議講演会

世界のゴミ事情と日本の課題

■米国、ヨーロッパ、東南アジアのゴミ処理とリサイクル

安田八十五 筑波大学社会工学系助教授

■日、米、独、容器包装施策の比較研究

緑川芳樹 バルディース研究会・グリーンコンシューマー分科会世話人

■韓国のゴミ収集有料化とリサイクル

佐々木美智子 横浜ゴミを考える連絡会運営委員

日時●12月9日(土曜)13時30分～16時

場所●JR石川町駅北口下車中央病院先

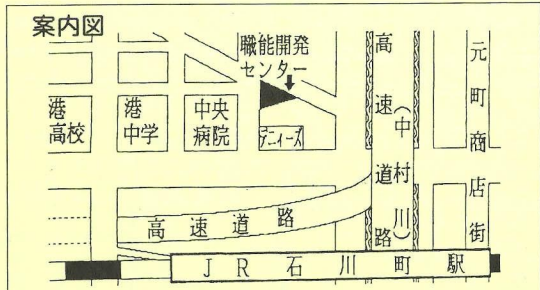
職能開発センター内 市民教室4階

参加費●無料(資料代・500円)

問合せ●横浜リサイクラー会議事務局

佐々木 ☎045(583)4352

案内図



ちよつとした工夫がごみの資源化に

横浜市でリサイクル展

10月11日から市内全域でごみの分別収集が行われています。そのPRも兼ねて市環境事業局主催の「95資源化展 リサイクルACT ION」が10月6日～20日まで市内各地で開催されました。

会場には「リサイクル入り口、出口」をテーマに分別して出す品物が展示され、それがリサイクルでどのように生まれ変わるかも製品で示されていました。また廃油で作った石けんやペットボトルを利用した植木鉢など、リサイクルさわやかママさんのグループ展も行われました。

訪れたお母さんたちは、分別収集に出すものは「O」がはいっていた缶、びんのクイズに挑戦したり、紙の包装材やプラスチックの容器が、家庭で出すゴミの63%にのぼると聞いて、毎日のちよつとした工夫がゴミの資源化に役立つのねと話合っていました。

(取材先・青葉区役所)



はみだし情報

知ってますか? 12月1日は鉄の記念日です。1857年(安政4)のこの日釜石に、日本初の洋式鋳炉が創業をはじめました。1957年(昭和32)この日を祝福するため、日本鉄鋳連が制定しました。

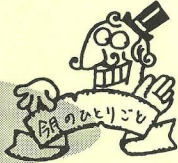
オフィス古紙 回収事業

9月回収実績
(参加企業 14社)
11,560kg
でした。

アルミ缶店頭 回収実績

(横浜市内スーパー106店舗)

9月回収実績
64,500kg
(3,970,000缶)
でした。



先日久しぶりに休日を取ったので家族とA公園に行きました。
そこでガレージセールをしていたのでおフロロと見てまわったの
ですが、何ともはや不思議な気持ちになりましたので皆さん
にもその不思議を伝えたいと思います。...

お店を出ている数が約60店ほどはつづいて、とうとう
72店の話です。

「先週は〇万円の売り上げがあったので今日はいくらに
売れはいいね」「これは輸入できて、ほやり物だからうちと
値段が高いんです」ね、不思議でしょう。

品物を売らなければ理解できないのですが、それを金額で表現
したり、わざわざ品物を輸入をしてお店に並べているのではガレ
ジセールに出る必要はないと思うのですが...
家の中に眠っている物を自分ではもう使わないで、お店にお
店に出したものは全部はなくなる様子をみる。自分で出来ない
リサイクルを大勢の人と一緒にやってみよう。これがガレジセール
はものだと考えていた私が違っていたのか。その店に
たくさんの人たちが集まっていて、これも不思議に思っているが、
めずらしい物を見たいという気持ちも分かるでしょう。...
それではランパや美術画をのせてもよいのでは、はい、はい、
お店の人に話を聞いたので、残った商品はまた他場所を確保
して、いつかその時に出ると言っていました。「それ、いくらなの？」と家
族に話すと、「お父さんたちがその様子をみていて、いくらで他の方へ
どうではない。楽しんでくれているジャマをしなくてはいいんじゃない？」
と答えてくれました。その時、涙を流している私の頭の中は「今日リサイクル
ビジネス」と言う言葉がいっぱいになりました。
皆さんはどう思いまうか?

リサイクルデザイン 年間購読者募集のお知らせ

【リサイクルデザイン】は、一部市内区役所・地区セ
ンターで無料配布していますが、第17号(’96年1月
発行)から年間購読者を募集します。定期購読を
希望の方は年間郵送料として、1,000円を下記の方
法でお送りください。

郵便局にある振替用紙に口座番号(00210-3-
64725)、加入者・横浜市資源リサイクル事業協同組
合、通信欄に第17号からと記入してください。

- ◆毎月20～23日頃、郵送で1年間お届けします。
 - ◆イベント情報・その他お知らせなどを別に提供し
ます。
 - ◆原則的に1人1部です。
- 団体(多人数)希望の方は別途御相談下さい。

リサイクルに伴う標準価格表

(平成7年10月現在)
(取引条件により多少の変化はあります。)

品名	買入金額	業者の売値
新聞	1kg 0～1円	1kg 7～8円
雑誌	1kg 0円	1kg 2～3円
段ボール	1kg 0円	1kg 8円
衣類くず	1kg 0～1円	1kg 5円
アルミ缶	1kg 5～15円	*アルミ缶のみを選別した場合

★この価格は、500kg以上集まる団体に適用されます。(個別
回収は適用外)

★業者の売値は、10月26日「日経新聞」より。

集団回収以外の段ボールの標準回収手数料

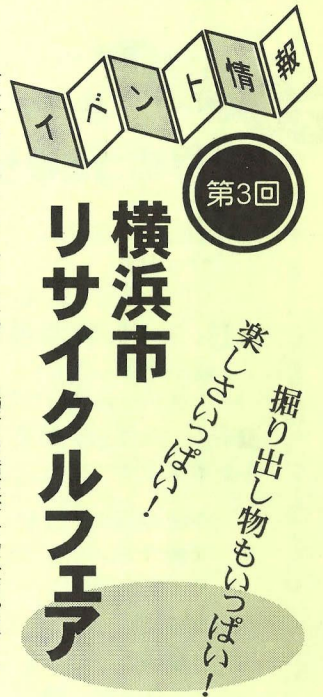
★集団回収以外で段ボールの回収を依頼されますと1回
3000円以上の手数料を頂いてます。
但し、段ボールは、束ねて出してください。

日時 ● 11月26日(日)
午前10時～午後3時

内容 ●
①フリーマーケット(約
100ブース)

今年もリサイクルフェア
を開催します。お気軽にご来
場ください。

場所 ● 横浜文化体育館(JR
関内駅、地下鉄伊勢佐
木長者町駅徒歩3分)



- ② 1日リサイクルプラザ／
粗大ゴミから出た家具、自
転車を抽選でプレゼント
(申込は1時まで)
 - ③ 資源物の臨時回収拠点／
古着、古繊維、紙バック、あ
き缶(お持ちいただいた方
に粗品進呈)
 - ④ 市民団体・事業者の展示
コーナーなど
- 問い合わせ先 ●
環境事業局減量化推進室
☎(671)3816